



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3360 URL <https://www.shiphd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 太
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	296,771	12.6	9,238	15.9	10,116	34.9	3,686	△11.0
2023年3月期第2四半期	263,520	12.3	7,971	5.0	7,498	1.6	4,143	0.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,582百万円(△17.6%) 2023年3月期第2四半期 6,774百万円(84.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	39.07	35.38
2023年3月期第2四半期	43.92	39.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	375,250	132,709	34.5
2023年3月期	381,977	131,115	33.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 129,406百万円 2023年3月期 128,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 43円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	4.8	23,500	11.1	23,500	14.0	12,500	3.6	132.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	101,669,400株	2023年3月期	101,669,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	7,319,175株	2023年3月期	7,319,175株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	94,350,225株	2023年3月期2Q	94,350,268株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に起因する行動制限の緩和により、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発するエネルギー価格の高止まりや食品価格の高騰、各国の金融引き締めに伴う景気の減速見通しや不安定な為替相場など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されたことに伴い、医療機関への病床確保料の見直しや診療報酬上の特例の見直し等が実施されました。また、各都道府県では、第8次医療計画に向けた指針として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により浮き彫りとなった地域医療の様々な課題への対応や人口構造の変化への対応が求められております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業のプロジェクト案件が順調に推移いたしました。一方、ミャンマー連邦共和国内の当社連結子会社2社においては、これまでの間、軍事クーデターに端を発する欧米の金融制裁や外貨の強制兌換等の影響を受けておりましたが、今般、更なる金融制裁強化により、外貨建ての回収や仕入れが困難な事態となりつつあり、今後もこのような状況が継続する情勢であることから、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったと判断し、のれんの全額相当である2,635百万円を特別損失として減損処理いたしました。また、当期は中期経営計画「SHIP VISION 2024」の2期目にあたり、当初掲げた4つの重点施策「コア事業の更なる高成長」「積極的なバリューの拡大」「機能強化戦略」「サステナビリティに対する取組み」について、引き続き推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は296,771百万円（前年同四半期連結累計期間比12.6%増）、営業利益は9,238百万円（前年同四半期連結累計期間比15.9%増）、経常利益は10,116百万円（前年同四半期連結累計期間比34.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,686百万円（前年同四半期連結累計期間比11.0%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が堅調に推移いたしました。メーカー系における電装部品の長納期化の影響は、引き続き継続しているものの、前期に比べると緩和されました。また、重粒子線がん治療施設においては、2022年4月から保険適用対象部位が拡大したことにより新規外来受診者数及び治療件数が増加いたしました。さらに、昨年7月にグループ入りしたキングラングループの業績が、当期は第1四半期連結累計期間より寄与いたしました。

この結果、売上高は56,665百万円（前年同四半期連結累計期間比16.5%増）、セグメント利益（営業利益）は3,443百万円（前年同四半期連結累計期間比28.3%増）となりました。

② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、原材料価格や人件費高騰の影響を受けた一方で、手術症例数が増加したこと等により診療材料需要が回復いたしました。

この結果、売上高は205,922百万円（前年同四半期連結累計期間比11.5%増）、セグメント利益（営業利益）は2,800百万円（前年同四半期連結累計期間比4.2%増）となりました。

③ ライフケア事業

介護サービスにおきましては、光熱費高騰の影響を受けた一方で、引き続き高い入居率を維持いたしました。また、食事提供サービスでは前期にグループ入りした企業の業績が寄与したこと等により食品価格の高騰を乗り越えて増収となりました。

この結果、売上高は18,010百万円（前年同四半期連結累計期間比16.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,293百万円（前年同四半期連結累計期間比16.3%増）となりました。

④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規出店及び小規模なM&A等により、業績は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は16,173百万円（前年同四半期連結累計期間比9.9%増）、セグメント利益（営業利益）は1,676百万円（前年同四半期連結累計期間比18.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は375,250百万円となり、前連結会計年度末と比べて6,727百万円減少いたしました。その主な要因は、「現金及び預金」が7,213百万円、「商品及び製品」が2,145百万円増加した一方、「受取手形、売掛金及び契約資産」が15,467百万円、「のれん」が3,263百万円減少したこと等によるものであります。

負債は242,541百万円となり、前連結会計年度末と比べて8,321百万円減少いたしました。その主な要因は、「電子記録債務」が4,160百万円増加した一方、「支払手形及び買掛金」が10,155百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は132,709百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,593百万円増加いたしました。その主な要因は、配当の支払いにより「利益剰余金」が3,962百万円減少した一方、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が3,686百万円、「その他有価証券評価差額金」が935百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は34.5%（前連結会計年度末比1.0ポイント増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは15,628百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比8,581百万円収入増）となりました。これは主に、「法人税等の支払額」が5,245百万円、「仕入債務の減少額」が6,104百万円あった一方、「売上債権の減少額」が15,301百万円あり、「税金等調整前四半期純利益」を7,392百万円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,627百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比3,393百万円支出減）となりました。これは主に、「有形固定資産の売却による収入」が340百万円あった一方、「有形固定資産の取得による支出」が1,698百万円、「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」が232百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは7,001百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比9,515百万円支出増）となりました。これは主に、「配当金の支払額」が3,962百万円、「長期借入金の返済による支出」が3,142百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物」の残高は、前連結会計年度末に比べて7,154百万円増加し、86,175百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては2023年11月10日に公表いたしました「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,839	88,052
受取手形、売掛金及び契約資産	131,539	116,072
電子記録債権	5,374	6,591
リース投資資産	3,102	2,999
商品及び製品	21,389	23,534
仕掛品	3,776	4,532
原材料及び貯蔵品	1,504	1,750
その他	10,817	11,161
貸倒引当金	△1,101	△1,185
流動資産合計	257,241	253,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,446	23,518
土地	18,209	18,067
賃貸不動産（純額）	10,951	11,008
その他（純額）	12,521	11,785
有形固定資産合計	65,127	64,380
無形固定資産		
のれん	12,320	9,056
その他	3,828	3,601
無形固定資産合計	16,149	12,658
投資その他の資産		
投資有価証券	25,424	27,097
長期貸付金	7,117	6,982
その他	12,605	12,315
貸倒引当金	△1,689	△1,695
投資その他の資産合計	43,458	44,699
固定資産合計	124,735	121,738
資産合計	381,977	375,250

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,883	99,727
電子記録債務	28,622	32,783
短期借入金	1,815	1,953
未払法人税等	5,332	3,923
賞与引当金	2,908	2,822
1年内償還予定の新株予約権付社債	25,016	25,004
その他	23,441	24,236
流動負債合計	197,020	190,450
固定負債		
長期借入金	41,571	39,473
退職給付に係る負債	3,383	3,423
資産除去債務	1,156	1,160
その他	7,730	8,034
固定負債合計	53,842	52,090
負債合計	250,862	242,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,533	23,447
利益剰余金	100,158	99,882
自己株式	△15,526	△15,526
株主資本合計	123,718	123,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,978	3,913
繰延ヘッジ損益	1	2
為替換算調整勘定	1,305	2,096
退職給付に係る調整累計額	32	37
その他の包括利益累計額合計	4,319	6,049
非支配株主持分	3,077	3,302
純資産合計	131,115	132,709
負債純資産合計	381,977	375,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	263,520	296,771
売上原価	236,793	267,232
売上総利益	26,726	29,538
販売費及び一般管理費	18,755	20,300
営業利益	7,971	9,238
営業外収益		
受取利息	158	163
受取配当金	115	147
持分法による投資利益	-	549
為替差益	-	32
その他	225	291
営業外収益合計	498	1,183
営業外費用		
支払利息	190	221
持分法による投資損失	10	-
為替差損	743	-
その他	27	84
営業外費用合計	971	305
経常利益	7,498	10,116
特別利益		
固定資産売却益	17	44
補助金収入	45	-
その他	0	6
特別利益合計	64	50
特別損失		
減損損失	-	2,635
固定資産除却損	13	7
関係会社株式売却損	-	129
その他	5	1
特別損失合計	18	2,773
税金等調整前四半期純利益	7,543	7,392
法人税、住民税及び事業税	3,378	3,539
法人税等調整額	304	168
法人税等合計	3,683	3,707
四半期純利益	3,860	3,684
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△283	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,143	3,686

四半期連結包括利益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,860	3,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,357	935
為替換算調整勘定	1,541	970
退職給付に係る調整額	△4	2
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△10
その他の包括利益合計	2,914	1,897
四半期包括利益	6,774	5,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,791	5,416
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	165

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,543	7,392
減価償却費	2,189	2,653
減損損失	-	2,635
のれん償却額	1,176	1,066
持分法による投資損益 (△は益)	10	△549
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△465	△88
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	201	89
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	40	71
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	129
受取利息及び受取配当金	△273	△310
支払利息	190	221
売上債権の増減額 (△は増加)	7,582	15,301
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,202	△3,109
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,078	△6,104
リース投資資産の増減額 (△は増加)	98	102
その他	440	1,079
小計	11,453	20,580
利息及び配当金の受取額	432	512
利息の支払額	△190	△219
法人税等の支払額	△4,648	△5,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,046	15,628
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△185	△222
定期預金の払戻による収入	240	249
有形固定資産の取得による支出	△1,395	△1,698
有形固定資産の売却による収入	114	340
無形固定資産の取得による支出	△307	△72
短期貸付けによる支出	△107	△17
長期貸付金の回収による収入	198	218
投資有価証券の取得による支出	△116	△91
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	382	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,998	△232
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△172
その他	△846	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,021	△1,627

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,830	185
長期借入れによる収入	471	62
長期借入金の返済による支出	△2,763	△3,142
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△3,868	△3,962
非支配株主への配当金の支払額	△22	△25
リース債務の返済による支出	△132	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,514	△7,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	139	154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,680	7,154
現金及び現金同等物の期首残高	72,804	79,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	77,484	86,175

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	48,651	184,681	15,472	14,715	263,520	—	263,520
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,341	722	28	49	2,141	△2,141	—
計	49,992	185,404	15,501	14,764	265,661	△2,141	263,520
セグメント利益	2,684	2,687	1,111	1,419	7,903	67	7,971

(注)1 セグメント利益の調整額67百万円には、セグメント間取引消去△29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等98百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、キングラン(株)株式を取得し、同社及び同社の子会社11社を連結の範囲に加えております。

当該事象により「トータルバックプロデュース事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が26,202百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、キングラン(株)株式を取得し、同社及び同社の子会社11社を連結の範囲に加えております。

当該事象による「トータルバックプロデュース事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては7,101百万円であります。

なお、のれんの金額は当第2四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算出された金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	56,665	205,922	18,010	16,173	296,771	—	296,771
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,592	598	22	47	2,261	△2,261	—
計	58,257	206,520	18,033	16,220	299,032	△2,261	296,771
セグメント利益	3,443	2,800	1,293	1,676	9,213	25	9,238

(注) 1 セグメント利益の調整額25百万円には、セグメント間取引消去△57百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等81百万円等が含まれております。全社費用等は、主に親会社本社の子会社からの運営費用収入、営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

トータルパックプロデュース事業におけるミャンマー事業において、当初の事業計画に対する進捗状況及び今後の業績の見通しを考慮した結果、当初想定していた超過収益力が見込めなくなったと判断し、のれんについて減損損失を計上しております。

当該事象によるのれんの減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において2,635百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

上記(固定資産に係る重要な減損損失)で記載したとおり、トータルパックプロデュース事業において、のれんを減損しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。